



第198号

2023年1月13日発行

横浜

西だより

発行
(公社)神奈川労務安全衛生協会
横浜西支部 事務局
横浜市戸塚区吉田町631
元町清水ビル203号
TEL 045-864-5354
FAX 045-864-5022
編集
横浜西支部広報部会



新年のご挨拶



(公社)神奈川労務安全衛生協会 横浜西支部

支部長 小西 将史



2023年の新春を迎え、会員事業場の皆様に謹んでお喜び申し上げます。また昨年の支部事業運営に関しましては、横浜西労働基準監督署ご指導のもと、会員事業場の皆様からの多大なるご支援、ご協力を賜ったこと厚く御礼申し上げます。

2022年度の横浜西支部活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で諸行事・講習会の開催延期・中止等、活動制限が続くなか、11月の神奈川労務安全衛生大会は、オンライン方式ではありますが、関係各位のご尽力により開催することができましたこと、心より感謝申し上げます。

令和4年の横浜西労働基準監督署管内の労働災害発生状況ですが、11月末時点で、休業4日以上の死傷災害発生件数は1775件、内コロナ感染症による1141件を除くと634件で、前年同期比17件増となっております。なかでも要因別では転倒による災害が多く発生していることから、横浜西労働基準監督署のご指導のもと、転倒災害防止対策を各事業場様をお願いさせて頂きました。

さて、本年は、「第13次労働災害防止計画」最終年となり、次なる「第14次労働災害防止計画」では、企業が自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発や労働者の作業に起因する労働災害防止他の項目が重点事項として求められます。

この方針に微力ながら貢献するべく、皆様の安全と健康を第一に、本年の支部運営を進めると共に、あわせて「支部会計の収支改善」と「会員事業場の拡大」にも鋭意取り組んでまいります。会員事業場の皆様におかれましては、支部運営への引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員事業場の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

横浜西労働基準監督署

署長 荻野 憲一



新年あけましておめでとうございます。

平素、貴支部及び会員事業場の皆様におかれましては、多大なるご支援とご厚情を賜り、心から御礼を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症との付き合いは4年目を迎えることとなりました。マスク生活が続く一方、徐々に従前の社会に戻りつつあるようにも思われます。

しかし、昨夏の感染第7波は過去最多の感染者を記録し、病院等の保健衛生業を中心として、監督署に対する同感染災害の労災請求が激増したことから、現在、調査及び給付決定等の処理に追われているところです。そして、市中では感染第8波がピークを迎えています。

皆様の職場におかれましては、従業員及びそのご家族の健康確保と業務処理体制の維持、また、労働災害防止の観点からも、ぜひ同感染防止対策を緩めることなく実施していただくようお願いいたします。

さて、昨年1月6日、首都圏に大雪が降ったことはご記憶にあることと思います。路面等に残った積雪が夜間の強い冷え込みにより凍結したことから、横浜市内においても転倒や交通事故が頻発しました。これを受けて当署では、通勤・退勤時を含む降雪・路面凍結時の転倒災害等防止対策の推進につき、重点期間を2月末までと定めて取り組んでおりますので、ご協力方お願い申し上げます。

今年も貴支部及び会員企業の皆様のお力をお借りして、労働災害防止対策の取組を強化し、並行して当行政の最重要課題の一つである「働き方改革」を推進していきたいと考えております。

最後に、皆様方のご健康とご多幸、さらに世界平和の実現をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和4年度（第81回）

全国産業安全衛生大会

第81回 全国産業安全衛生大会
プログラム

令和4年度、第81回「全国産業安全衛生大会」が10月19日～21日の3日間、福岡にて開催されました。今回もコロナウイルス感染防止の観点から、「現地のリアル開催」のみならず、「オンデマンド配信を組み合わせた開催」となりました。本大会は、昭和7年の第1回開催以来、事業場で働く職場の安全衛生に関わる関係者が全国から参加・視聴し、各産業現場でのゼロ災にて、犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにす国内最大のイベントであり、今回は81回目大会として開催されました。

今回は、「大宰府の地 皆で学んで高めよう 安全・健康の知恵」をテーマとして、現地リアル開催はマリンメッセ福岡B館で総合集会、マリンメッセ福岡A館及び福岡国際会議場にて講演会及び研究発表会（16分科会197テーマ）、緑十字展「働く人の安心づくりフェア」が、3日間にわたって行われました。また、オンデマンド配信においては事前収録・編集された現場映像が、10/19～11/4までの間で何時でも何度でも視聴することが可能となり全国安全衛生の第一線で活躍されている管理監督者、安全衛生担当者、経営者など、従来以上に多くの方々による参加及び情報配信となりました。

大会初日、総合集会第1部は、非常に厳かな雰囲気の中、君が代斉唱にて開幕致しました。開会式では、まず労働災害やコロナ感染により亡くなられた方々、また昨今多発している自然災害での犠牲者の方々への哀悼の意を表し黙祷を捧げた後、中央労働災害防止協会副会長の開会の辞、十倉中央労働災害防止協会会長の大会式辞（ビデオメッセージ）、加藤厚生労働大臣祝辞（代読）、室伏スポーツ庁長官祝辞



室伏スポーツ庁長官祝辞

（ビデオメッセージ）、福岡県知事祝辞（代読）、公益社団法人福岡労働基準協会連合会副会長挨拶がありました。続く表彰式では、安全衛生の推進に功労著しく、社会的に貢献した個人・企業・団体に対し、「中央労働災害防止協会会長賞」1社、「顕功賞」3名、「緑十字賞」81名と3団体が表彰されました。

そして、第1部の最後には、「全社的な安全衛生活動や安全衛生意識の醸成をコロナ禍においても推進し、諸課題を克服して行くためには、DXに代表されるイノベーションをハード・ソフト両面で取り入れ活かしていくことが重要となる。労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いであり、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにするとともに、新型コロナウイルス感染拡大防止と社会経済活動の両立に、関係者が一丸となって取り組む」ことを誓った大会宣言が採択されました。

第2部では、厚生労働省労働基準局から労働安全衛生行政の動向に関する講演に続き、ヘルスケア・トレーナーの動きに合わせ中間体操が行われ、最後に生物学者/青山学院大学教授の福岡伸一氏による「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から」と題し、特別講演がありました。

大会2日目および3日目は各分科会に分かれ、様々な研究や取組・事例の報告、パネルディスカッションやシンポジウムなどが行われ、現地のリアル開催に加えオンデマンド配信を組み合わせたハイブリッドでの開催にて、大変盛況かつ多くの参加者へ情報発信できた大会として成功を収めました。

次年度令和5年は9月27日～29日の3日間、愛知県の「ポートメッセなごや」にて開催の予定です。

（事務局 飯島 輝夫）



令和4年度

神奈川労務安全衛生大会

令和4年度「神奈川労務安全衛生大会」は神奈川労働局・神奈川県・小田原市のご支援のもと、平塚支部・小田原支部の運営にて、新型コロナウイルス感染症拡大防止と参加者皆様の安全を最優先に考え、本年もオンデマンド配信にて開催されました。

本大会は、適正な労働条件の確保、労働災害の防止、健康保持増進等により労働福祉の向上と産業の健全な発展をはかる決意の場として行う協会最大の行事であり、オンデマンドによる2部構成で進められました。



(公社) 神奈川労務安全衛生協会
会長 加藤 英治

神奈川労務安全衛生協会
加藤会長より開会挨拶

まず、第1部では冒頭に神奈川労務安全衛生協会加藤会長の開会挨拶にて、休業4日以上の死傷者数は対前年比66%の大幅増で目標達成は困難な状況の中、目標に少しでも近づけるべく、推進計画に示された墜落・転落や機械災害の防止、高年齢

労働者に配慮した職場環境改善等の重点課題を確実に実施していく必要があることを示されました。本大会では、事業場の皆様が労務安全衛生の諸課題に於ける対応を今一度振り返り、労働環境の変化や働き方の多様化に対応すべく、今後の挑戦を誓う場であり、各事業場の英知を結集して能力を存分に発揮し、そして時代の変化に対応した職場環境の実現を目指して取り組んでいく旨、ご挨拶頂きました。

また、多くのご来賓の皆様よりメッセージを頂戴しました。神奈川労働局長 西村様・神奈川県産業労働局労働部長 西海様・小田原市長 守屋様・中央労働災害防止協会理事長 竹越様より、ご祝辞とともに労務安全衛生における取り組みや課題等の御言葉を頂戴しました。

< 特別講演 > (60分)

「DXが進める世界とサステナビリティな現場とは」



First Creative Agent

代表エバンジェリスト 松本 国一

1991年、大手DX企業へ入社。
情報・通信・モバイルの合計16部門40部署でソフト、ハードの設計から製品・事業企画、販売推進、営業支援まで様々な業務に従事。

現在、多彩な業務経験を活かし、シニアエバンジェリストとして活躍中。
雑誌や新聞、web、ラジオなど多くのメディアで働き方改革の紹介や、池上彰氏、八坂圭子氏、佐々木健治氏など著名人との対談、ほか学芸員の執筆や日本銀行ラウンドテーブル、報知の高院・大学で講演など幅広く活躍中。
2022年7月、First Creative Agentを立ち上げ、代表エバンジェリストに就任。

特別講演

続いて、表彰として労務安全衛生功労賞に受賞された方々のご紹介がありました。労務安全衛生功労賞は事業場における労務管理、安全衛生活動の向上に多大な貢献をされた方々に贈られます。令和4年度は支部推薦35名と本部推薦5名の方々が受賞されました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

第2部では日本労働安全衛生コンサルタント会様より、「職場における受動喫煙を防止するために」をテーマとした講習と、マックス様より、安全・安心な職場を表示で改善する取り組みとして、「表示が変われば職場の環境も変わる」と題して、表示改善に係る取組みがご紹介されました。そして、損害保険ジャパン様からは、「サイバー攻撃の現状と対策」についてご説明頂きました。

更に特別講演として、First Creative Agent 代表エバンジェリストの松本様をお招きして、「DX (デジタル・トランスフォーメーション) が進める世界とサステナビリティな現場」について解説戴きました。現在、多彩な業務経験を活かし、シニアエバンジェリストとして活躍されている松本様より、大変興味深いお話を伺うことが出来ました。

このように令和4年度の神奈川労務安全衛生大会は約3時間のオンデマンド配信でしたが、コロナ禍における有効な手段として多くの方々にご視聴戴けたかと存じます。

(株)日産クリエイティブサービス 小野 祐人

受賞紹介

「令和4年度神奈川労務安全衛生大会」において、弊協会加藤協会長より労務安全衛生功労賞を受賞しました。

誠にありがとうございます。

受賞者



黒田 英樹 氏
山崎製パン(株)
横浜第一工場



森田 正生 氏
(株)日立リアルエステート
パートナーズ



小森 頭彦 氏
(一財)神奈川県労働
衛生福祉協会

監督署からの情報

冬期（特に降雪・凍結時）の転倒災害等防止対策について

● 重点取組期間 **令和4年12月1日～同5年2月28日**



令和4年1月6日（木）に首都圏に大雪が降りましたが、路面等に広範に積雪が残り、夜間の冷え込みもあって凍結しました。これにより、当署管内においても転倒や交通事故が頻発しました（同年1月6日～8日の業務上（転倒）災害（休業4日以上）は22件、通勤災害はこの数倍に及びます）。

そこで、冬期（特に降雪・凍結時）の転倒災害等防止対策に努めていただくようお願いいたします。

なお、近年、転倒災害は年間を通してもっとも多い「事故の型」となっており（令和3年の県内における全ての業務上災害に占める転倒災害の比率は21%）、50歳以上の女性の被災者が多いことが特徴です。

1. 事業主の皆様におかれましては…

- 大規模な降雪・路面凍結が予想される場合は、特別休暇の付与や在宅勤務への切替え等の措置に努めてください。
- 出勤を要する場合は、職場近隣の宿泊施設における前泊、通勤・退勤時間の弾力的運用、タクシー利用許諾等の制度づくりに努めていただくことが望まれます。
- 職場敷地内はもちろんのこと、駐車場、周辺道路、歩道等の除雪・融雪に努めてください。



2. 日頃の備えとして…

- 神奈川県労働局は、公益財団法人かながわ健康財団の意見をきいて、転倒予防のための体操「ころばNICEかながわ体操」を考案しました。日常の健康づくりに「ころばNICEかながわ体操」を取り入れていただくことが効果的です。



- 厚生労働省では『STOP! 転倒災害プロジェクト』を展開しています。「職場のあんぜんサイト」をご参照のうえ、転倒や交通労働災害等防止にかかる安全教育や健康づくり活動等の対策の推進をお願いします。

転倒災害防止をはじめとする
労働安全衛生に関する各種の情報を提供しています

厚生労働省 職場の安全を応援する情報発信サイト/
職場のあんぜんサイト

労働災害統計 労働災害事例 各種教材・ツール 化学物質

ホーム > STOP! 転倒災害プロジェクト

STOP! 転倒災害プロジェクト

転倒災害について >

転倒災害対策について >

転倒災害対策好事例
[あんぜんプロジェクトページへ] >

職場の安全サイト

<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

「mhlw.go.jp」は厚生労働省のサイトです。



滑りますよ! 転びますよ!



雪が降った日とその後の路面凍結が消えるまで...

Check!

二輪車 (自転車・バイク) の利用は差し控えましょう!



やむを得ず屋外を歩行する場合は...

Check!

滑りにくい靴 (かかとが低く、底面がゴム製や溝が深い物など) を履きましょう。



Check!

転倒に備えた服装 (厚手の手袋や帽子、腰を覆うコート、リストバンド、肘当てなど) を心がけましょう。

Check!

リュックサックやたすき掛けのカバンを使用し、なるべく両手は空けましょう。

Check!

いつもよりも時間的余裕をもって家を出ましょう。

Check!

遠回りでも滑りにくい場所を選んで通行しましょう。

Check!

歩幅を小さく、足裏全体で着地して、ゆっくり歩きましょう。



**スマートフォン
見ながら歩きは厳禁!**

**ポケットに
手は入れないで!**

コラム

正しい靴の選び方

靴は、自分の足に合ったサイズのものを使いましょう。小さすぎる靴では足指が動かしにくく、バランスを崩したときに足の踏ん張りがきかなくなります。逆に大きすぎる靴では、歩行のたびに足が前後斜めに動いて、靴のつま先やかかところが、足の動きに追従できなくなります。以下のポイントにも注意して、作業に合った靴を選びましょう。

靴の屈曲性

靴の屈曲性が悪いと、足に負担がかかるだけでなく、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。



靴の重量

靴が重くなると、足が上がりにくくなるため、擦り足になりやすく、つまずきの原因となります。靴が重く感じられる重量には個人差がありますが、短靴では900g/足以下のものをお勧めします。

靴の重量バランス

靴の重量がつま先部に偏っていると、歩行時につま先部が上がりにくく(トゥダウン)、無意識のうちに擦り足になりやすく、つまずきを生じやすくなります。



つま先部の高さ

つま先部の高さ(トゥスプリング)が低いと、ちょっとした段差につまずきやすくなります。高齢労働者ほど擦り足で歩行する傾向があるため、よりつまずきやすくなります。



靴底と床の耐滑性のバランス

滑りやすい床には滑りにくい靴底が有効ですが、滑りにくい床に滑りにくい靴底では、摩擦が強くなりすぎて歩行時につまずく場合があります。靴底の耐滑性は、職場の床の滑りやすさの程度に応じたものとする必要があるため、靴はできるだけ履いてみてから選定することをお勧めします。

新春随想

横浜西労働基準監督署

労災課長 中尾 誠

新年明けましておめでとうございます。

昨年も新型コロナウイルスにより様々な影響を受けた一年でした。

一時、感染者数の減少も見られましたが、秋から冬にかけては第7波、第8波と続き、未だ収束の見通しもつかない状況に感じられます。ただ、このような状況下ではありますが、世の中ではいわゆる「ウィズ・コロナ」という生活様式が徐々に浸透しつつあり、十分な感染対策を行った上での旅行などのイベント事も増えてきているように感じられます。私自身も、十分な感染対策を取り、少人数で店を厳選しての飲食会など以前に比べると回数も増え、良い気分転換ができていますし、このような状況下だからこそ自分のやりたい事もやって気分転換を図っていくことも精神衛生上必要なことではないかと考えています。

対コロナの感染対策において、真っ先に挙げられるのはマスクの着用ですが、呼吸が苦しい、うっとおしい、などと感じることもあるでしょうが、それでも多くの人が確実に着用をし、今では

着用が当たり前のようになっています。このように基本的な対策を確実に地道に行き当たり前にしていくということは、対コロナだけではなく、対労働災害においても同様に重要なことであり、作業における基本的動作の確認、遵守などを確実に地道に行き当たり前にしていくことによって、労働災害の発生防止につながっていくものと思います。

最後になりますが、今年は「コロナも労働災害もゼロ」となるような一年であることを祈念いたします。



山崎製パン株式会社

横浜第一工場

執行役員工場長 近藤 康之

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0627

森紙業株式会社

関東事業所

事業所長 大町 智応

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町628番地
TEL 045-822-7000

株式会社協同清美

代表取締役社長 三澤 孝至

〒240-0035 横浜市保土ヶ谷区今井町859番地
TEL 045-351-1111

ミドリ安全株式会社

横浜南支店

支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
TEL 045-810-6235



2022～2023年度 横浜西支部主要行事予定

1. 2022年度

開催日(曜日)	内容	募集人員	場所	
1月	19日(木)	特定化学物質等作業主任者技能講習	鎌倉芸術館「集会室」	
	20日(金)			
	23日(月)			第2回職長能力向上教育
	25日(水)			第4回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
2月	14日(火)	第2回KYT講習会	鎌倉芸術館「会議室1」	
3月	14日(火)	第5回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	建災防横浜西分会「会議室」	

2. 2023年度(案)

①主要行事 (【 】:中災防 く :協会本部を示す)

開催日(曜日)	内容
5月	18日(木) 支部通常総会【鎌倉芸術館】
	26日(金) <本部通常総会>
6月	9日(金) 全国安全週間横浜西地区推進大会【男女共同参画センター横浜】
9月	7日(木) 全国労働衛生週間横浜西地区推進大会【男女共同参画センター横浜】

開催日(曜日)	内容	
9月	27日(水)	
	28日(木)	【全国産業安全衛生大会】 【名古屋市】
	29日(金)	
11月	17日(金) <神奈川労務安全衛生大会>	
1月	11日(木) 安全祈願・賀詞交換会・経営者セミナー【鶴岡八幡宮・鶴ヶ岡会館】	

②講習会等

開催日(曜日)	内容	
4月	7日(金) 新入社員安全衛生教育	
	25日(火) リスクアセスメント実務研修会	
5月	30日(火) 第1回労務管理講習会	
6月	15日(木)	
	16日(金)	第1回職長教育【2日間】
	23日(金)	第1回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
	29日(木)	第1回安全衛生推進者養成講習【2日間】
7月	11日(火)	第1回KYT講習会
	18日(火)	有機溶剤作業主任者能力向上教育
	25日(火)	第1回職長能力向上教育
8月	3日(木)	第2回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
	24日(木)	監督署届出手続き講習会
9月	15日(金) 化学物質のリスクアセスメント	
10月	5日(木)	第2回職長教育【2日間】
	6日(金)	

開催日(曜日)	内容	
10月	11日(水)	化学物質管理【2日間】
	12日(木)	
	27日(金)	特定化学物質作業主任者能力向上教育
	31日(火)	第3回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
11月	6日(月)	第2回安全衛生推進者養成講習【2日間】
	7日(火)	
	14日(火)	特定化学物質等作業主任者技能講習【2日間】
	15日(水)	28日(火) 産業保健研修会
12月	7日(水)	第2回労務管理講習会
	15日(金)	挟まれ巻き込まれ防止研修会
1月	16日(火)	第4回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習
2月	8日(木)	第2回KYT講習会
	20日(火)	第2回職長能力向上教育
3月	7日(木)	第5回フルハーネス型墜落制止用器具特別講習

研修会場: 鎌倉芸術館「集会室」、 「会議室1」 建災防横浜西分会「会議室」
※研修会は、講師都合及び会場の抽選結果等により日程を変更する場合があります。

入会事業場紹介

2022年度会員入会事業場紹介

新しく入会された事業場を紹介します。

	事業場名	事業内容	所在地
①	株式会社 ファンケル総合研究所	化粧品及び健康食品等の研究開発	横浜市戸塚区
②	日通横浜輸送株式会社	貨物自動車運送業	横浜市瀬谷区
③	中外製薬株式会社 中外ライフサイエンスパーク横浜	医薬品の研究開発	横浜市戸塚区

新規会員募集

横浜西支部では、地域内(戸塚区、栄区、泉区、保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区)にある事業場で、当協会に未加入の事業場等に対して加入促進活動を行っております。

近隣で又は、お知り合いで未加入事業場がございましたら事務局まで是非ご紹介ください。

(事務局 TEL 045-864-5354 FAX 045-864-5022)



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します。



順不同

日本自働精機株式会社

代表取締役社長 田中 宏和

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町915番地
TEL 045-814-7850

株式会社日立製作所

システム&サービス人事総務本部

部長 菅生 小百合

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地
TEL 045-881-7161

ミドリ安全株式会社

横浜南支店

支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
TEL 045-810-6235

森紙業株式会社

関東事業所

事業所長 大町 智広

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町628番地
TEL 045-822-7000

山崎製パン株式会社

横浜第一工場

執行役員工場長 近藤 康之

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0627

～役員・事務局だより～

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私ども役員・事務局も新たな気持ちで2023年を元気で迎えることが出来ました。

昨年の支部運営は、コロナ禍に伴い一部中止や参加数制限等で大変厳しい状況が続き、会員の皆様にはご迷惑をおかけしました。生活変容のなか一部は何とか事業運営を再開することが出来ました。

横浜西労働基準監督署のご指導、会員事業場皆様のご理解、ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

当支部では会員のニーズにあった事業の展開や会員皆様へのサービス向上に役員一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

(横浜西支部事務局長 飯島 輝夫)

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。

冬といえばやはりコタツですが、皆さんは使っていますか。最近聞いた話ですが、働き方改革はコタツになることが理想という話があります。

コタツというものは最初は冷たいですが、暖まってくると今度はそこから出られなくなる。更に出たくないので、身近にいろんな物を置くようになる。

働き方改革も同じで最初は厳しい時間が続きますが、改革することでやがて楽になり抜け出せなくなる。そしてそれが当たり前になっていく。そんな、働き方改革を目指していきたいですね。

最後に、本年が皆様にとって良い年となりますようお祈り申し上げます。

(株式会社タツノ横浜工場 黒田 仁)